2026年11月２日

各　位

会 社 名　　マクニカホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長 原　一将
（コード番号：3132　東証プライム）
問合せ先　　取締役 大河原 誠
（TEL 045-470-8980）

2027年３月期通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2026年５月11日に公表いたしました2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）の通期連結業績予想数値を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、当社は2026年11月２日開催の取締役会において、下記のとおり2026年９月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を決議いたしました。なお、2026年５月11日に公表いたしました期末配当予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．通期連結業績予想の修正

（１）2027年３月期通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,300,000	百万円 52,000	百万円 47,000	百万円 32,000	円 銭 179.21
今回修正予想（B）	1,670,000	67,500	66,000	46,000	257.56
増減額（B－A）	370,000	15,500	19,000	14,000	
増減率（%）	28.4%	29.8%	40.4%	43.7%	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	1,214,196	41,950	37,392	27,765	155.54

（注）当社は、2026年11月２日付けの取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「１株当たり当期純利益」の算定にあたっては、当該決議に基づく2026年11月４日以後の自己株式の取得による影響は考慮しておりません。

（２）修正の理由

2027年３月期通期連結業績予想につきましては、半導体事業におきましては、AI関連向けの需要が市場を牽引し、幅広い市場で半導体需要は堅調に推移する見込みです。サイバーセキュリティ事業においてもAIを起因とした新たなセキュリティ需要が増加するなか、エンドポイントセキュリティをはじめとして市場が堅調に推移しており、国内外ともにサイバーセキュリティの需要は更に拡大していく見込みです。CPSソリューション事業におきましては、日本政府の戦略17分野の製品・技術のひとつに自動運転が位置づけられ、今後、自動運転バスの導入拡大が期待されています。一方、自動運転EVバスの事業開発に係る投資フェーズが継続することに加え、海外の事業環境の変化を踏まえた販売計画の見直しや、顧客の車両開発中止による案件の終了により、同領域の下半期の売上高及び利益は当初計画を下回る見込みです。これらの事業環境を踏まえ、2027年３月期通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

２．剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

（１）剰余金の配当（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 (2026年５月11日公表)	前期実績 (2026年３月期中間)
基準日	2026年９月30日	同左	2025年９月30日
１株当たり配当金	45円00銭	40円00銭	35円00銭
配当金総額	8,039百万円	―	6,249百万円
効力発生日	2026年12月２日	―	2025年12月２日
配当原資	利益剰余金	―	利益剰余金

（２）期末配当予想の修正

	１株当たり配当金		
	第２四半期末	期末	合計
前回予想 (2026年５月11日公表)	40円00銭	40円00銭	80円00銭
今回修正予想		45円00銭	90円00銭
当期実績	45円00銭		
（ご参考）前期実績 （2026年３月期）	35円00銭	35円00銭	70円00銭

（３）剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想修正の理由

当社は、将来の事業展開と経営体質の一層の充実・強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対し極力利益を還元すること、諸般の情勢を勘案しつつも安定した配当の継続に努めることを基本方針としております。2025年度～2027年度の中期経営計画における株主還元方針は、連結自己資本配当率（DOE）５％を目安として安定的かつ継続的な配当を実施するとともに、機動的な株主還元の手段として資本効率や市場環境などを考慮のうえ自己株式の取得を実施し、総還元性向40～50％を目指すこととしております。

2027年３月期につきましては、業績見通しの達成状況や事業環境等を総合的に勘案し、第２四半期末の１株当たりの配当（中間配当）を前回予想から５円増配の45円と決定いたしました。期末の１株当たりの配当予想につきましては、前回予想から５円増配の45円に修正いたします。この結果、１株当たりの年間配当予想は、前回予想から10円増配の90円となる予定であります。

以上